



2012 年度を迎えて —はじめよう！ 1人ひとりができること—

育成会会長 長田均彦



昨年は、当団の発足40周年の節目で、一ためそう スカウトの力を！のスローガンを掲げ、記念植樹・記念式典・祝賀会・団キャンプと多くの行事をスカウトとともに祝うことが出来ました。

記念式典・祝賀会は、見えるスカウト活動をメインテーマとして取り組み、会場を専修大学の御協力を得て階段教室を借り受け、従来の壇上からの上から目線の式典運営でなく、来賓者、御父母、リーダー及びスカウトが見下ろすことが出来る舞台環境が素晴らしく、各隊によるアトラクションも映えました。又、祝賀会ではローバースカウト達の音楽演奏もおおきく盛り上げて頂きましたことを感謝いたします。

このように元気なスカウト活動を地区役員、友団の団委員長及び団内の関係者に披露できました。

団キャンプでは、スカウトと多くのスタッフと父母の参加を得て、縦割り班の編成で本栖湖の湖畔のプログラムは素晴らしく、事故も無く過ごせました。スタッフの努力に感謝いたします。

スローガンの一ためそう スカウトの力を！の実践が実を結んだ結果であり、その成果は上進へ繋がりました。

周年行事はスカウトを大きく成長させるとともにスカウトの記憶に残る事と思います。

40周年にあたり賛助会員、OBS会員に参加を呼びかけ、約40名の参加を頂き初代育成会長の原島先生縁の“柏屋”で懇親会を開演いたし40周年行事を盛り上げて頂きました。

2012年度入隊・上進式が9月4日に、育成会総会が10月2日に举行され、新年度の人事(案)・活動計画(案)及び予算(案)が承認となり、本年度のスローガン＝はじめよう！1人ひとりができること＝のもと動きはじめました。

今年は、育成会総会議案にも取り上げられましたが、本年度より日本連盟の大幅値上げが決まりました。育成会の会費値上げについて議決の運びとなりましたが、団をあげてのスカウト活動の活性化を図ることと事務経費の検証及び収入増加策(スカウト数の増加、事業収益増の検討)を全団をあげて取り組むこととなりました。

上進スカウトと御父母に心からお喜び申し上げます。

昨年度は、登録スカウト数減少が続く昨今、組織拡張・財務委員会の精力的な活躍にも関わらずスカウトの大幅増にはいたりませんでした。この結果を踏まえ原因を究め対策に取り組むことを強く感じました。育成会といたしましても団の施策に精一杯の支援をすることといたしますので、会員各位におかれましても育成会における事業及び団行事のお手伝い等に御支援のほどよろしくお願ひします。お手伝いは、①古紙回収の整理にとどまらず、量的拡大を図り受け渡し総量のアップによる収受料金をふやす、②バザー売上の方策に寄与(情報の提供や集客率の向上)、③区民祭に代わる出展の取り組み、等。

スカウトには「人の力になる」とおきての実践としての奉仕活動へ取り組むことを教えております。育成会会員各位につきましても互助による奉仕活動にご理解を頂き、お手すきなときご協力お願いいたします。

弥栄



46団次の一歩

団委員長 多賀譲治



私たち46団は50歳へ向けての第一歩を歩み始めました。

機会ある毎に話してきましたが、ボーイスカウトを取りまく社会的環境は決してよいとは言えません。これまでも、少子化・部活・お受験など様々な要因があげられ、対処方法が考えられてきましたが、スカウト数の減少傾向は一向に収まる様子がありません。21個団ある川崎地区も再編が進み、来年度には10個団程度になるでしょう。私たち46団は多摩区にあって唯一単独で活動できる団と言われていますが、それで安心するわけにはいきません。

スカウト数の減少は、班や組の持つ良い働きを利用することを基軸にしているボーイスカウト活動の根幹に関わることで、10年後を考えるととても現状のままでよいとは言えないのです。

3月11日の大震災は日本人の価値観に少なからず影響を与えました。被災者のために、東北のために私たちは我慢するというのを覚えました。不要なエネルギーや消費を抑えることも学びました。何より変わったのは「人のためになにかをする」という意識が大きく膨らんだということでしょう。「自分で考え判断し行動する」その力を個人の幸福だけではなく、社会や他の人のために役立てるというボーイスカウトの精神が、今こそ必要とされる社会的環境が私たちの周りにあるということです。

健全な心と体を持った青少年を育てるために何をしなくてはならないのか・・・私たちボーイスカウト川崎第46団は新たな気持ちで41年目の年に向かいたいと思います。

そのための具体的目標は次の通りです。

1. プログラムの一層の活性化

冒険心に富んだ活動と、それを支える基本教育の充実です。子供たちがワクワクして楽しむような活動を行うためにはボーイスカウト活動の基本的な技能や心がけを持たなければなりません。

両者のバランスがとれたプログラムの構築を目指したいと思います。月に一度の団会議では隊内はもちろん、ビーバーからローバーまでの一貫教育としての整合性をもったプログラム作りをについて積極的に話し合っていきたいと思っています。

2. リーダースキルの向上

お父さん・お母さんが主体の46団リーダーですが、その道でのプロになるために様々な研修を受けていただいています。研修率の高さは川崎地区内でもトップレベルですが、これを今後も推進していくことと、団内の勉強会も模索していきたいと思っています。46フォーラムのあり方を見直す時期にきていると考えています。リーダースキルの向上無くしてプログラムの活性化はありえません。

すべてはスカウトのために・・・リーダーも父母の皆さんも心をつなげて、私たちの46団を育てていきましょう。



今年度のスローガンは
岩崎スカウトが考えて
くれました。



ビーバー隊

カブ隊



ボーイ隊

ベンチャー隊



ローバー隊



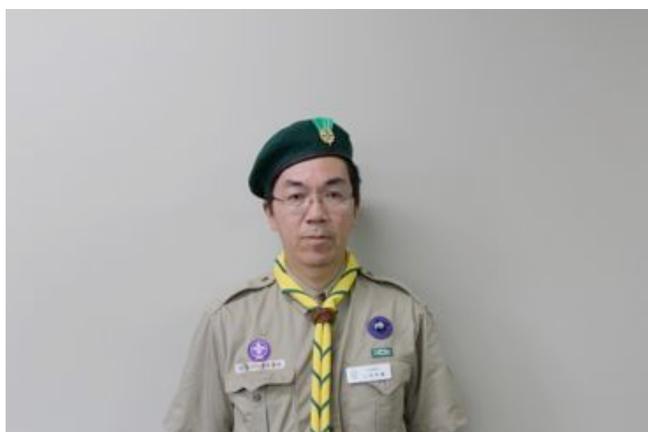


新隊長紹介

ローバー隊 隊長 清水 哲也



ボーイ隊 隊長 三浦 孝廣



今年度、ボーイ隊の隊長を任命されました三浦です。ボーイ隊は小学生から中学生の子供たちで成り立っています。班及び隊の活動に参加することで、自分の役割と責務を果たし、野外活動を主とした体験学習を通して、良い社会人になるための資質の向上を図ります。

キャンプでの水汲みは新入スカウトがなぜ行うのか？キャンプの中では水はとても大切なものです。テントサイトには水道がありません。重たい水を汲む経験をしたスカウトは、決して水を無駄には使わないでしょう。キャンプの中での食事也是如此です。残さないようにするにはどうしたらよいか？残さないように、作ったものをみんなで頑張って食べる班。分量をちゃんと計画し無駄のないように作る班もあると思います。

スカウト達が「よりよき社会人」になるために、ボーイ隊の4年間では、なぜやらなければならないのか、何のためにやるのかを考え、体で覚えてほしいと思います。これからもスカウト達が、自発的に活動できるよう、私達指導者は最大限の支援をしていきたいと思っています。体で覚えたことは忘れない。そんな活動を行っていきたく

思っています。

スカウト達が沢山の活動に参加できるよう、保護者の皆様の後方支援もどうぞよろしくお願いいたします。

以上

カブ隊 隊長 津嶋 直文



今年度からカブ隊 隊長を務めます、津嶋です。

46団の活動に参加するようになって、約5年が経ち、まさか隊長という役目を任されることになるとは、自分でも驚いています。

私は、5年前の35周年団キャンプがきっかけとなり、指導者デビューしました。それまでは子供の活動に参加するのみでした。当時はボーイスカウトの存在は知っていましたが、具体的にどのようなことをする団体なのか、正直分かっておりませんでした。そんな自分が、5年間の副隊長経験を経て、隊長を拝命させていただく事となりました。

私自身は、スカウトの経験がありませんが、指導者を務めながらスカウトとしての経験もさせて頂きました。

自分もスカウトの一員のつもりで、隊長という任を勤めたいと思います。

カブ隊のご父母、リーダーの皆様、いろいろと助言をいただくとありますが、共に頑張っていきましょう。今後とも宜しくお願い致します。

以上

ビーバー隊 隊長 宮崎 栄二



今年度、ビーバー隊長をつとめることになりました宮崎です。

息子がカブ隊に入隊してから8年、リーダーとしては、はや5年以上スカウト活動にたずさわってはおりますが、当初、思いもよらなかった隊長という重職につくことになり、いささか緊張しております。

今後の活動としては、岩崎前隊長と同様に、スカウトはもちろん、保護者のみなさんやリーダーにとっても楽しめる活動であることを心掛けてまいります。

各リーダーと協力し、保護者のみなさんのご支援をあおぎながら、スカウト仲間を増やしていくよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上



ボーイスカウト運動の使命

～次代に受継ぐ原動力が不可欠です～

指導者養成委員長 北村 岳人



育成会総会のお場をお借りして、スカウト運動の目的と原理について説明する機会を設けさせていただきました。この運動はスカウトが中心で、大人（保護者・指導者）のためではありません（間接的には、それぞれの人格形成に寄与します）。

当日、説明した内容や思いを要約すると次のとおりとなります。

(1)「ちかいとおきて」の実践について

成人である私たち大人が普段の生活の中で守っていること、当たり前のように実行していることをスカウトだけではなく、指導者自身もおきての実践をしていく。でも、人間は甘えに弱いので、つつい反省を繰り返してまいります。実行には勇気が必要となります。おきての表現をカブスカウトに分かりやすくしたものが、「カブ隊のさだめ」となります。

(2)野外活動と教育手法

野外で活動を行うことで、大自然に対する畏敬の念を抱き、目の前の神秘的な情景や暑さ、寒さに至るまで、自然から多くを学ぶことができます。言い換えれば、室内の活動だけでは経験できないのです。“安全は全てに優先する”ことを念頭に、それぞれの部門で、リーダーシップやメンバーシップ、フォローシップなどについて、グループ（組・班）を通じて進歩向上していく仕組みを100年も昔に、B P（ベーデンパウエル）が考案しました。

残念ながら、当団も標準隊構成（CSは6人4組体制、BSは8人4班体制）の半分となっています。競争心を醸成するにしても、2組・2班では難しいのが実情です。

ひとりでも多くの子供たちにボーイスカウト運動に参加して、先ずは3組・3班体制となるように、努力していきたいと思っています。

(3)保護者の協力は不可欠！

スカウト運動の目的は、社会に貢献できるような青少年を育成することですが、さらに付け加えるならば、平和な世の中を築くことが究極の目的と言えます。

100年以上も続いている青少年団体はボーイスカウトだけであり、私自身もこの運動を続けることで、青少年の育成にとって価値があることを確信しています。時代とともに変えていくべき面もあれば、変えてはならない面もあります。

昨年度から保護者の皆さんに、ボーイスカウト運動の概要について知ってもらうために、ボーイスカウト講習会に参加して頂いています。修了すれば、副長として活動することは可能ですが、同時に、保護者の皆さんの口から、同年代の友人に対して、スカウト運動の素晴らしさを伝えて、子供を連れて来て欲しく、その原動力になって頂きたいのです。

講習会の案内については、各隊から行いますので、積極的な参加をよろしく願います。ともにスカウト運動の道を歩みましょう！

以上



2011年度各隊活動報告

BS隊

- 9/4 12年度上進式(三田小体育館)
スカウト14名 リーダー5名
- 9/11 班集会 スカウト7名
- 9/18 隊集会・基礎訓練
スカウト11名 リーダー3名
- 9/25 隊集会・地区ラリー
スカウト8名 リーダー3名

CS隊

- 5/15 隊集会(三田第4公園・基礎訓練・組
集会ハイク発表)スカウト13名 リー
ダー5名 DL2名 DC2名 父母4名
- 5/22 隊集会(団ハウス・式典準備(劇の小
道具作り))スカウト12名 リーダー5
名 DL2名 父母6名
- 5/22 父母会(団ハウス)リーダー4名 父母
10名
- 6/5 団集会(新百合ヶ丘・生田駅・登戸駅・
震災募金&創作センター・巣箱観察)ス
カウト11名 リーダー5名 DL2名 父
母6名
- 6/12 隊集会(三田第4公園・式典出し物練
習)スカウト9名 リーダー6名 RS1
名 DL2名 父母8名
- 6/19 団行事(専修大学・40周年記念式典)
スカウト12名 リーダー6名 RS1名
DL2名 父母10名
- 6/25 団集会(本栖湖・団キャンプ下見)リ
ーダー2名
- 7/10 隊集会(三田第4公園・基礎訓練・安
全)スカウト13名 リーダー4名 DL2
名 DC2名 父母3名
- 7/30 隊集会(JAXA相模原・ペットボトルロケット
作り&JAXA見学)スカウト10名 リ
ーダー3名 DL4名 DC2名 父母3名
- 8/6 組集会(団ハウス・パッキング訓練)
スカウト9名 DL4名 DC1名 父母2
名
- 8/10-13 団行事(本栖湖~団40周年記念キャン
プ)スカウト9名 リーダー7名 DL4
名 父母10名
- 8/20 くま集会(黒川青少年野外活動センタ
ー・月の輪キャンプ)ク下見)くまスカ
ウト3名 リーダー5名 RS1名 父母
1名(隊車・買出し手伝い)
- 8/21 隊集会(黒川青少年野外活動センタ
ー・バイバイ・カブ・流しそうめん)ス
カウト11名 リーダー6名 RS1名 DL4
名 DC2名 父母弟妹9名
- 9/4 隊集会(三田小学校・最後のセレモニ
ー)スカウト13名 リーダー7名
- 9/4 団行事(三田小学校・入隊・上進式)
スカウト13名 リーダー7名 父母12
名

- 9/4 隊集会(三田第4公園・最初のセレモ
ニー・連絡網訓練)スカウト12名 リ
ーダー4名 DC2名
- 9/11 隊集会(三田第4公園・基礎訓練ドリ
ル・ロープ)スカウト11名 リーダー
4名 RS1名 DC2名 見学者1名
- 9/25 地区行事(等々力緑地~平和公園・地
区ラリー)スカウト12名 リーダー2
名 DL3名 DC2名 父母弟妹7名

BVS隊

- 5/8 ハイク(鎌倉アルプス)
スカウト3名 リーダー4名 父母4名
- 5/15 デイ・キャンプ(川崎48団・集会場)
スカウト3名 リーダー4名 父母4名
見学者2名
- 6/6 募金・ビーバーまつり準備(団ハウス)
スカウト3名 リーダー4名 父母3名
- 6/19 40周年記念式典(専修大記念館)
スカウト5名 リーダー4名 父母6名
- 6/26 ビーバーまつり(土橋小学校)
スカウト5名 リーダー4名 父母6名
- 7/9 工場見学(武蔵野ビール工場)
スカウト5名 リーダー3名 父母7名
見学者1名
- 7/31 キャンプの準備集会(団ハウス)
スカウト5名 リーダー4名 父母6名
- 8/10~13 40周年記念団キャンプ(本栖湖)
スカウト5名 リーダー4名 父母6名
- 8/31 バイバイビーバー(団ハウス・三田子文)
スカウト6名 リーダー4名 父母4名
見学者2名
- 9/4 入隊・上進式(三田小体育館)
スカウト3名 リーダー2名 父母4名
- 9/11 基礎訓練・梨もぎ体験(登戸)
スカウト3名 リーダー4名 父母4名
見学者2名
- 9/25 川崎地区スカウトラリー(等々力緑地)
スカウト1名 リーダー3名 父母2名

広報委員

戸叶 孝司
荒川 泰一
岩田 雅之
神岡 美穂
風呂田 里栄子
牛尾 弥生

編集後記

「夜明けの星」を編集する際、いつも悩んでしまうのが、
沢山撮った写真の中からどれを掲載したらいいか、とい
うことです。今回の入隊・上進式も百数十枚ある写真か
ら二十数枚選択するのに悩みました。今後は、誌面の都
合上、やむを得ず“お蔵入り”となった写真は、写真閲
覧サイトなどを活用するなどして、掲載できるようにな
ればと思います。

岩田 雅之